

平成27年11月三木市教育委員会（臨時会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成27年11月25日（水）午後5時00分
- 2 閉 会 平成27年11月25日（水）午後6時00分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 協議事項
協議事項14 全国学力・学習状況調査結果に係る保護者向け啓発資料等について
- 4 報告事項
平成28年度予算編成方針について
- 5 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	委 員 長	里 見 俊 實
	2番	委員長職務代行者	水 島 慶 子
	3番	委 員	井 口 徹
	5番	委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教育企画部長	西 本 則 彦
		こども未来部長	永 尾 勝 彦
		教育政策課長	大 西 真 一
		教育環境整備課長	貞 松 保 夫
		文化スポーツ振興課長	堀 内 基 代
		図書館長	伊 藤 真 紀
		学校教育課長	野 口 博 史
		教育センター所長	大 東 豊
		就学前教育・保育課長	岩 崎 国 彦
		子育て支援課長	井 上 典 子
	教育政策課主査	五百蔵 一 也	

傍聴者

0人

◇ 会議内容

委員長が、報告事項平成28年度予算編成方針については、政策形成段階の事案であることから、非公開とすることを諮り、全員一致で同意された。

1 開 会

委員長が、平成27年11月三木市教育委員会臨時会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と松本教育長を指名した。

3 協議事項

【協議事項14】全国学力・学習状況調査結果に係る保護者向け啓発資料等について

○野口学校教育課長が次のように説明した。

全国学力・学習状況調査結果に係る保護者向け啓発資料等について、3種類の資料を作成している。一つは、「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」である。この中で結果の公表、各科目の調査結果の概要、生活習慣との相関関係及び教育委員会と学校の今後の取組を示している。1ページの上段において、「…、学校、家庭が学力及びその向上について共通の基盤のもとに取り組む必要があります。」という文言を入れており、教員と家庭が結果を共に知った上で、共通理解の下子どもたちの成長に関わっていくことを明確にしている。2ページ、3ページの各科目の調査結果の概要

において、定着しているものには○を、課題があるものについては▲を付けている。4ページでは、学校外での学習時間が少ない、自己肯定感がやや高い、テレビゲームやスマートフォンに費やす時間が長いといった三木市の子どもたちの傾向を示すとともに、そうした生活習慣と学力の間に相関関係があることを明記している。また、今後の取組として、家庭向けリーフレットを作成し、家庭と連携した取組を進めること、「重点指導資料」を活用して、指導方法の工夫改善を図ること、補充学習の充実を図っていくことを記載している。次が「みきっ子家庭学習ガイド」で、小学校1・2年生、小学校3・4年生、小学校5・6年生及び中学生に分けて作成している。この資料が各家庭に対するメッセージという位置づけとなる。小学校については、それぞれ学習時間の目安を示すとともに、各学年で身に付けたい力を記載している。中の見開きでは、学力と生活習慣の相関関係を示しており、朝食を毎日食べている場合は、まったく食べていない場合と比較して正答率が高くなっている。また、テレビゲームをする時間との相関については、3時間以上する場合に正答率が急激に低下している。学校外の学習時間との相関については、中学校で学習時間0の場合の正答率が大きく落ち込んでおり、家庭で学習する習慣がない場合に、学力に大きな差が生じていることが読み取れる。この資料については、カラーでの印刷を業者に依頼し、できるだけ見やすいものにするのと同時に、文章についても読みやすいものとするよう改良していく。我々としては、この資料によって飛躍的に学力が向上するとは思っておらず、この資料が保護者と子どもたちの話の種となって、何か一つでも家庭学習のルールを決めてもらうことや、家庭学習を前に進めてもらうことを狙いとしている。最後が「重点指導資料」で、教員に対して授業改善に向けた手法を示すものである。第1部では、学力向上に向けた視点を示している。一つは、「スパイラルを意識した展開」で定着を図ることである。例えば国語の文法の学習は、小学校1年生から中学校3年生まで既習事項を基盤としながら進めていくことを意識してほしいと考えている。次が小中学校間で教科指導の連携強化を図ることである。例えば数学の連立方程式は、小学校で学んだことを、形を変えて中学校でも学ぶこととなる。子どもたちがこれまでどのように学んできたのか、学ぶ側の立場になって指導してほしいと考えている。最後が、振り返りを通して授業ごとの定着を確認することである。理科

の授業において、実験は楽しんで取り組むが、そこで得たことを十分に消化しきれず、テストで点数が取れない場合がある。十分振り返りながら、知識として整理・定着するようにしてほしいと考えている。第2部では、課題のある内容の分析と手立てを示している。実際に点数の低かった問題について、できなかった理由の分析と、指導にあたって注意すべき点を示している。今後のスケジュールは、校長会の意見を聞き、12月中には保護者へ資料配布したいと考えている。「重点指導資料」については、3学期から実際に活用してもらえよう準備を進める。

(里見委員長) これまで教育委員会内でも総合教育会議でも家庭教育について協議を重ねてきた。個人的には家庭教育の推進が最も重要だと考えている。今回良い資料ができたことをうれしく思う。

(水島委員長職務代行者) 同感である。一人でも多くの方に見ていただきたい。

(井口委員) 私も良い資料ができたと思う。教員向けの「重点指導資料」の31ページで、理科の方位の問題を取り上げている。東西南北が分からない、地図が読めない子どもが多いと感じている。ぜひ力を入れて指導してもらいたい。

(里見委員長) 一人でも多くの保護者に読んでもらうためには、調査結果の表題に「ご報告とお願い」という文言を入れるべきだと思う。その他の表記についても、統一すべき点等精査してほしい。

(松本教育長) 今年度初めて実数値を発表し、その中で今回の資料ができたことは大きな進歩だと感じている。この資料を家庭と学校がどのように活用するかを見守り、状況も把握しながら、常に検証していくことが重要だと考えている。

(里見委員長) 印刷にあたっては、見る人の印象に残り、かつ、ポイントがすぐわかるレイアウトとした上で、できるだけ早い時期に配布してほしい。

4 報告事項

(非公開)

平成28年度予算編成方針について

三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書きの規定により、非公開として報告したため、同規則第31条の規定により、内容については記載しない。

5 閉 会

委員長が、平成27年11月三木市教育委員会臨時会の閉会を宣言した。